



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
TEL 0134-24-1111

(氏名) 二階堂 恭仁
(氏名) 安田 徹

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,173	0.9	215		1		212	
2023年3月期第3四半期	23,965	18.2	566		312		289	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	81.14	
2023年3月期第3四半期	110.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,341	26,094	70.7
2023年3月期	35,539	26,084	72.2

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 25,679百万円 2023年3月期 25,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				40.00	40.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2024年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	1.3	150	69.3	350	55.4	100	82.9	38.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,146,000 株	2023年3月期	3,146,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	529,570 株	2023年3月期	529,450 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,616,482 株	2023年3月期3Q	2,616,735 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、観光需要や個人消費が増加しました。

一方では、原材料価格の上昇や深刻な人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は24,173百万円(対前年同期比0.9%増)、215百万円の営業損失(前年同期は566百万円の営業損失)、1百万円の経常損失(前年同期は312百万円の経常損失)、212百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は289百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業は、輸送需要が回復傾向にありますが、コロナ禍前まで戻っておりません。

乗合運送事業は、都市間高速バスにおいては、2023年12月1日に運賃改定を実施しました。また、電子回数券の導入を拡大し、利便性の向上を図りました。

2023年12月1日のダイヤ改正においては、人員不足のため、札幌圏を中心に路線の短縮化、廃止、減便など、過去最大規模の路線見直しを実施しました。

貸切運送事業は、一般団体の受注が増加しました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は13,341百万円(対前年同期比3.4%増)、294百万円の営業損失(前年同期は626百万円の営業損失)となりました。

②建設業

建設業は、道内の公共投資や民間設備投資が増加する中、受注高は増加しましたが、完成工事高が減少しました。

この結果、売上高は7,637百万円(対前年同期比4.2%減)、外注費の減少などにより営業利益は169百万円(同3.6%増)となりました。

③清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより増収となりました。

この結果、売上高は2,557百万円(対前年同期比6.5%増)、営業利益は140百万円(同3.5%増)となりました。

④不動産事業

不動産事業は、前年同期並みの売上高を確保しました。

この結果、売上高は585百万円(対前年同期比0.1%増)、営業利益は200百万円(同0.9%増)となりました。

⑤観光関連事業

観光関連事業は、全国旅行支援などの施策もあり、観光需要が回復しております。

ニセコアンスプリ国際スキー場は、外国人利用客が増加しました。そのような中、リフト料金を改定するとともに、レストラン事業を直営化しました。

小樽天狗山スキー場は、外国人観光客の回復や、小樽天狗山のメディア露出効果もあり、利用客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、旅行支援事業への参加や外国人宿泊客の増加などにより利用客が増加しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、前述の観光需要の回復施策の下で、団体客の受入や集客イベントの開催などにより利用客が増加しました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、スタッフ増員による営業体制の強化や、新メニューの提供を行いました。

旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は1,228百万円(対前年同期比29.5%増)、人件費の増加や、本格的なスキーシーズン前ということもあり、388百万円の営業損失(前年同期は378百万円の営業損失)となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、入校生が増加しました。介護福祉事業は、入居者が減少しました。

この結果、売上高は1,732百万円（対前年同期比3.6%増）、13百万円の営業損失（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,808,477	6,291,778
受取手形、売掛金及び契約資産	5,118,795	4,140,829
有価証券	2,040,099	2,550,250
商品	52,959	64,367
原材料及び貯蔵品	153,200	220,194
未成工事支出金	79,940	175,532
その他	235,995	906,474
貸倒引当金	△4,887	△5,435
流動資産合計	14,484,581	14,343,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,754,706	21,059,604
減価償却累計額	△16,414,543	△16,599,574
建物及び構築物(純額)	4,340,162	4,460,029
車両運搬具	27,336,135	26,682,536
減価償却累計額	△24,500,028	△24,389,347
車両運搬具(純額)	2,836,107	2,293,188
土地	9,687,251	9,776,542
その他	4,844,267	5,447,515
減価償却累計額	△4,265,913	△4,296,314
その他(純額)	578,353	1,151,201
有形固定資産合計	17,441,874	17,680,962
無形固定資産	134,507	150,247
投資その他の資産		
投資有価証券	3,068,210	3,752,293
その他	430,278	420,200
貸倒引当金	△20,431	△6,402
投資その他の資産合計	3,478,057	4,166,091
固定資産合計	21,054,440	21,997,301
資産合計	35,539,021	36,341,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,423,602	2,789,003
未払法人税等	203,624	122,229
賞与引当金	218,967	112,748
災害損失引当金	43,123	—
その他の引当金	5,000	3,349
その他	2,592,215	2,994,903
流動負債合計	5,486,534	6,022,234
固定負債		
退職給付に係る負債	2,646,348	2,667,598
役員退職慰労引当金	329,657	354,311
その他	991,657	1,202,409
固定負債合計	3,967,662	4,224,320
負債合計	9,454,197	10,246,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	24,157,243	23,829,031
自己株式	△1,219,490	△1,219,898
株主資本合計	25,797,094	25,468,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,826	491,445
退職給付に係る調整累計額	△339,776	△280,170
その他の包括利益累計額合計	△150,949	211,274
非支配株主持分	438,679	414,990
純資産合計	26,084,824	26,094,740
負債純資産合計	35,539,021	36,341,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	23,965,794	24,173,786
売上原価	22,357,491	22,116,179
売上総利益	1,608,302	2,057,607
販売費及び一般管理費	2,174,465	2,273,597
営業損失(△)	△566,163	△215,989
営業外収益		
受取配当金	64,204	85,293
助成金収入	112,993	48,198
持分法による投資利益	18,938	27,532
その他	60,308	56,030
営業外収益合計	256,444	217,055
営業外費用		
支払利息	142	194
支払手数料	2,135	2,033
その他	9	—
営業外費用合計	2,288	2,227
経常損失(△)	△312,007	△1,161
特別利益		
固定資産売却益	27,531	46,400
受取保険金	214,788	—
その他	21,303	17,224
特別利益合計	263,622	63,624
特別損失		
固定資産除売却損	49,649	71,202
その他	1,254	1,140
特別損失合計	50,904	72,342
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,288	△9,879
法人税、住民税及び事業税	147,938	174,614
法人税等調整額	57,821	50,738
法人税等合計	205,759	225,352
四半期純損失(△)	△305,048	△235,232
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,990	△22,941
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△289,057	△212,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△305,048	△235,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,945	266,535
退職給付に係る調整額	80,891	59,605
持分法適用会社に対する持分相当額	21,215	36,435
その他の包括利益合計	165,052	362,576
四半期包括利益	△139,995	127,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,075	149,933
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,920	△22,589

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,815,963	7,417,825	1,411,151	336,090	945,758	1,039,004	23,965,794	—	23,965,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82,982	552,971	990,049	248,885	3,358	633,311	2,511,560	△2,511,560	—
計	12,898,946	7,970,797	2,401,200	584,975	949,117	1,672,316	26,477,354	△2,511,560	23,965,794
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△626,443	163,702	135,664	199,066	△378,990	△25,781	△532,782	△33,381	△566,163

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	13,259,408	6,807,598	1,482,831	335,008	1,224,002	1,064,936	24,173,786	—	24,173,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81,597	830,277	1,074,419	250,585	4,645	667,375	2,908,900	△2,908,900	—
計	13,341,005	7,637,876	2,557,250	585,593	1,228,648	1,732,312	27,082,687	△2,908,900	24,173,786
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△294,163	169,616	140,362	200,771	△388,581	△13,664	△185,659	△30,330	△215,989

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。